

部課名		都市づくり部都市政策課											
課の使命		・市内、市外を問わず、「住みたい」「訪れたい」「活動したい」まちとして選ばれ続けるため、計画的なまちづくりの誘導を図ります。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	個 別 計 画	魅力ある質の高いまちを目指した土地利用制度の活用	地域活動や市民活動を通じて、市民が交流し活動する愛着ある地域拠点となるような「新たな学校づくり」の実現に向けて、具体的な検討を進めている、「薬師・金井地区」、「町田第三・山崎地区」、「南第三・南第四地区」及び「小山田・小山田南地区」の計4地区において、庁内及び国・東京都との協議・調整を行い、国・東京都への申請資料を作成します。	国・東京都への申請資料作成	完了								
2	個 別 計 画	災害に強い安全なまちの形成	事前都市復興の重要性について市民への意識啓発を図るとともに、大規模災害発生後の迅速かつ円滑な都市復興実現のため、モデル地区において復興まちづくり訓練を実施し、過年度成果も含めた訓練成果をとりまとめます。	①市民への意識啓発の実施 ②モデル地区の復興まちづくり訓練成果をとりまとめ	①2回 ②完了								
3	人 材 育 成	「チームワーク志向」	【部内合同研修会】 都市づくり部内各課がスムーズに連携・協力して業務を行えるよう、他課の業務に関する知識の向上を図るため、部内研修を実施します。 ・異動者や新入職員を対象とした各課の基礎的事項に関する研修 ・より深い業務内容の周知を目的とした各課持ち回り研修 ・部内の災害対応体制の強化に向けた防災関連研修	部内合同研修会の実施回数	年3回								
4	全 庁 で 取 り 組 む 施 策	「ゼロカーボンシティまちだ」	打合せ時に使用する資料等については、以下のことを定期的に課内周知し、紙削減に取り組みます。 ・印刷前にプレビューの確認を徹底し印刷ミスを防止する。 ・庁内で使用する資料はビジネスチャットを活用するなど、ペーパーレス化を図る。	印刷枚数の削減率(2025年度比)	5%								

部課名		都市づくり部都市政策課 モノレールまちづくり推進室											
課の使命		・多摩都市モノレールの多摩センター駅から町田駅までの延伸事業を推進します。 ・多摩都市モノレールを契機として、木曽山崎団地エリアなどのモノレール沿線のまちづくりを推進します。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	重点 事業 プラン	モノレール沿線まちづくりの推進	多摩都市モノレール町田方面延伸の早期実現に向けた、東京都、多摩市、多摩都市モノレール株式会社との連絡調整会議において、事業性の検証等を進めていくために、モノレール沿線まちづくり構想に基づく取組を着実に推進していきます。	取組項目数	2項目								
2	その他	モノレール導入空間となる町田市道忠生1004号線の東京都への移管	モノレール延伸ルートの町田市道忠生1004号線を東京都へ移管するため、道路補修に必要な調査・測量・設計を進めます。	調査・測量・設計	完了								
3	その他	気運醸成	多摩都市モノレール町田方面延伸に関する講演会の開催やイベント出展によって、延伸の早期実現に向けた市民の機運を高めます。	実施回数	2回								
4	人材育成	「チームワーク志向」	【部内合同研修会】 都市づくり部内各課がスムーズに連携・協力して業務を行えるよう、他課の業務に関する知識の向上を図るため、部内研修を実施します。 ・異動者や新入職員を対象とした各課の基礎的事項に関する研修 ・より深い業務内容の周知を目的とした各課持ち回り研修 ・部内の災害対応体制の強化に向けた防災関連研修	部内合同研修会の実施回数	年3回								
5	全庁で取り組む施策	「ゼロカーボンシティまちだ」	打合せ時に使用する資料等については、以下のことを定期的に課内周知し、紙削減に取り組みます。 ・印刷前にプレビューの確認を徹底し印刷ミスを防止する。 ・庁内で使用する資料はビジネスチャットを活用するなど、ペーパーレス化を図る。	印刷枚数の削減率(2025年度比)	5%								

部課名		都市づくり部都市政策課 中心市街地開発推進室											
課の使命		・町田駅周辺の開発を推進することで、官民が一体となって便利で快適・居心地のよい駅前空間を創出するとともに、これまで培ってきた町田らしい商業の賑わいに“誰かと一緒に楽しむ・体験する”といった新しい賑わいを加え、賑わいと交流が生まれ続けるまちの実現を目指します。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
1	重点 事業 プラン	町田駅周辺開発の推進【D地区】	①まちづくり協議会を運営し、集客施設や道路・デッキなどの基盤整備について地権者からの合意を得て、土地利用方針(骨子)を作成します。 ②地区西側及び北側の地権者と勉強会を開催しながらまちづくりの検討を進め、まちづくり方針を決定します。	①土地利用方針(骨子)の作成 ②まちづくり方針の決定	①完了 ②決定								
2	重点 事業 プラン	町田駅周辺開発の推進【ABC地区】	①交通ターミナルやベDESTリアンデッキ等の整備のあり方について、有識者委員会における検討を取り纏め「(仮称)町田駅周辺交通基盤・公共空間等整備方針」を策定します。 ②A地区については、まちづくりの検討をより深度化します。 ③BC地区については、再開発の進め方に関して地権者から合意を得ます。	①策定 ②検討会開催 ③進め方の地権者合意	①策定 ②3回開催 ③合意								
3	重点 事業 プラン	町田駅周辺開発の推進【JR町田駅南地区】	①市街地再開発事業の都市計画決定に向けて、地権者・関係機関協議を進めます。 ②JR東日本と共同で測量や都市計画素案の作成等を進めます。	①再開発整備内容の地権者合意 ②都市計画素案の作成	①合意 ②完了								
4	重点 事業 プラン	町田駅周辺開発の推進	①町田駅周辺の開発推進に向けて、2025年度に決定した町田駅周辺開発応援ロゴマーク等を活用したプロモーションを実施します。 ②さがまち学生クラブ等と連携したプロモーションを実施します。	①ロゴマーク等を活用したプロモーションの実施回数 ②学生と連携したプロモーションの実施回数	①2回 ②2回								
5	事務 事業 見直し	歳入の確保	都の補助金等の継続獲得に取り組みます。	継続獲得	獲得								

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
6	人材 育成	「チームワーク 志向」	【部内合同研修会】 都市づくり部内各課がスムーズに連携・協力して業務を行えるよう、他課の業務に関する知識の向上を図るため、部内研修を実施します。 ・異動者や新入職員を対象とした各課の基礎的事項に関する研修 ・より深い業務内容の周知を目的とした各課持ち回り研修 ・部内の災害対応体制の強化に向けた防災関連研修	部内合同研修会の実施回数	年3回								
7	全庁で 取り 組む 施策	「ゼロカーボン シティまちだ」	打合せ時に使用する資料等については、以下のことを定期的に課内周知し、紙削減に取り組みます。 ・印刷前にプレビューの確認を徹底し印刷ミスを防止する。 ・庁内で使用する資料はビジネスチャットを活用するなど、ペーパーレス化を図る。	印刷枚数の削減率 (2025年度比)	5%								

部課名		都市づくり部土地利用調整課											
課の使命		・都市計画決定などの土地利用に関する情報を的確に提供します。 ・良好な宅地と住まいづくりを誘導します。 ・宅地開発及び建築行為事業において、適切な事業者指導を実施し、持続可能な都市開発を推進します。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	重点 事業 プラン	都市農地の保全活用の取組み	①都市農地の持続可能な保全・活用をするために、様々な主体と連携した「まちだベジハブ」の取組を拡充し、担い手創出の支援を行います。 ②「下小山田・図師町農の風景育成地区」の育成計画に基づき、市民・農業者・地域の関係者が連携・協力して実施する取組への支援を行います。	①「まちだベジハブ」の取組に参加した累計担い手数 ②育成計画に基づき実施される取組への支援回数	①125主体 ②年5回								
2	その他	分かりやすい住所整理の推進	森野六丁目地区で住居表示を実施することについて、市議会へ議案の上程を行います。また、街区と住居番号の告示に向けて準備を行います。	市議会への議案の上程、告示の準備	完了								
3	その他	地理情報システムの利用推進	①職員向けの操作研修会を実施し、地理情報システムの利用推進を図ります。 ②都市計画情報等に関する問合せ対応の効率化を図るため、「地図情報まちだ」を多くの市民や事業者の方に利用していただくための周知を行います。	①地理情報システム研修会の受講者数 ②「地図情報まちだ」の周知回数	①年100人 ②年2回								
4	個別計画	持続可能な都市開発の推進	「町田市宅地開発事業に関する条例」における公共施設(公園・緑地)の設置基準について新基準を策定します。	新基準の策定	完了								
5	人材育成	「チャレンジ志向」	DXやAIなど業務に関わる最新技術等に関する研修に参加します。	研修参加回数	年5回								
6	全庁で取り 組む 施策	「ゼロカーボンシティまちだ」	ノートPC等を活用して紙資料の印刷枚数を2025年度比で削減します。	印刷枚数の削減率(2025年度比)	5%								
7	事務事業見直し	経営改革の推進	オンライン技術の活用により管外出張回数を2025年度比で削減します。	管外出張回数の削減率(2025年度比)	40%								

部課名		都市づくり部交通事業推進課											
課の使命		・日常的な移動を多様な担い手・手段で支え、移動しやすい・持続可能な交通環境をつくること											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	重 点 事 業 プ ラン	地域の移動を支える取組への支援	地域の支え合い交通の実用化に関する取組に対して、関係者との調整や道路運送法等交通法規に関する技術的支援を行うとともに、活動を実施継続していくために必要な財政的支援を行います。	支え合い交通の実施件数	13件 (新規1件、継続12件)								
2	重 点 事 業 プ ラン	小田急多摩線の延伸検討	延伸の実現に向けた収支採算性等の調査・検討を相模原市と共に実施します。	収支採算性等の調査・検討	完了								
3	個 別 計 画	地域公共交通計画の策定	町田市交通計画推進協議会において、計画の目標実現に向けた施策や評価指標、運用体制等について検討を行い、「(仮称)町田市地域公共交通計画」を策定します。	計画の策定	完了								
4	個 取 別 計 組 画 む ／ 施 策 庁 で	シェアモビリティの推進 「ゼロカーボンシティまちだ」	共同運営事業者と協働し、シェアモビリティステーションの増設や利用啓発などに取り組み、地域の中を快適に移動できる環境をつくります。あわせて、シェアモビリティの取組を推進することで、CO2排出量の抑制につなげます。	シェアモビリティ利用回数	420,000回								
5	個 別 計 画	バス待ち環境改善箇所数	交通事業者等と連携し、バス停留所への上屋・ベンチの設置などバス待ち環境の改善に向けた取組を進めます。	バス待ち環境改善箇所数	3箇所								
6	個 別 計 画	自転車活用推進計画の改定	「町田市都市づくりのマスタープラン」方針編(交通)における施策の一つ「地域の中を快適に移動できる『小さな・ゆったりとした』交通を生み育てる」の実現に向けた自転車の活用に係る施策や取組の検討を行い、「町田市自転車活用推進計画」を改定します。	計画の改定	完了								
7	人 材 育 成	「チャレンジ志向」	交通に関する最新の政策等に関する研修・講演への参加や、最新の技術等に関する取組の視察等を積極的に行うことで職員のチャレンジ志向を育みます。	研修等への参加人数	延べ36人								
8	事 務 事 業 見 直 し	バリアフリー基本構想に関するスケジュールの整理・見直し	①基本構想に基づく福祉のまちづくりに関する今後のスケジュールを検討します。 ②現行、1地区1年度で行っているバリアフリー基本構想の改定について、協力団体等に配慮したスケジュールに見直します。	①検討 ②見直し	完了								

部課名		都市づくり部地区街づくり課											
課の使命		・「訪れたい」と思われる駅周辺の街づくりに取り組みます。 ・「住みたい・住み続けたいまち」の実現を目指し、市民、事業者等と協働で、魅力と豊かさを感じられる景観まちづくりを推進します。 ・土地区画整理事業等の制度を活用し、計画的な街づくりを推進します。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
1	重点 事業 プラン	鶴川駅南口街 づくりの推進	2025年度に引き続き調整地の整備工事を実施しま す。 仮換地指定(現状値65%)を進め、物件移転及び整備 工事を計画的に行います。	①調整池整備工事 ②仮換地指定率	①完了 ②67%								
2	重点 事業 プラン	相原駅周辺街 づくりの推進	東口駅前街区の再編整備について、地域へ説明を 行います。また商業施設整備を実施する事業者につ いて選定方法を検討します。 位置指定道路(私道)の整備に向けて、道路調査測 量を行います。	①地域への事業説明 ②調査測量	①完了 ②完了								
3	重点 事業 プラン	原町田中央通 りの魅力の向 上	原町田中央通り(原町田大通りから文学館通りま での区間)において、無電柱化事業と連動し、沿道空 間を含めた一体的な整備に向けて、権利者による意 見交換会を実施し、沿道空間の維持管理や活用等 についての地域ルールを検討を行います。 また、地域による沿道空間活用を促進するため、地 域行事と連携した社会実験や新たな活用方法を検 証するための社会実験を実施します。	①意見交換会の実施回 数 ②社会実験の実施回数	①2回 ②3回								
4	人材 育成	「市民志向」／ 「チームワーク 志向」	職務を適正に進めるための職員の能力向上を図り、 係間の情報や知識を共有し課内で連携・協力して業 務を行うため、課内勉強会(お役立ち知識の共有 等)を実施します。	課内勉強会の実施回数	3回								
5	全庁 で取 組む 施策	「シティプロ モーション」	職員ひとりひとりが広報担当であることを自覚するた め、広報研修を積極的に受講し、得た知識や資料を 共有・実践するための課内勉強会を実施します。	①広報研修の受講人数 ②課内勉強会の実施回 数	①3名 ②1回								

部課名		都市づくり部住宅課											
課の使命		・誰もが安全・安心に長く暮らせる、豊かで快適な居住環境を確保します。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
1	重点 事業 プラン	特定緊急輸送 道路沿道建築物の耐震化推進	耐震改修促進計画に基づき、震災時に緊急輸送道路を閉塞する恐れのある建築物の耐震化を進めるため、耐震化を未実施の建物所有者への啓発活動や費用助成を実施します。	特定緊急輸送道路沿道 建築物の建替え又は除却 実施棟数	2棟								
2	重点 事業 プラン	木造住宅の耐 震化促進事業	①ホームページや耐震相談会などにおいて、耐震化の必要性や助成制度の周知を行い、耐震化を進めます。 ②旧耐震基準の木造住宅に加え、81-00住宅の耐震化を促進するため、簡易耐震診断の実施に向けて、住宅所有者へ案内状を送る等の啓発活動を実施します。 ※町田市耐震改修促進計画の改定に伴い、旧耐震基準の木造住宅に加え、1981年6月から2000年5月までに建築された在来軸組工法の木造住宅(81-00住宅)の耐震性も考慮して耐震化率を算出	①木造耐震化率 ②81-00住宅の簡易耐 震診断の受付件数	①66.0% ②110件								
3	重点 事業 プラン	団地再生に向けた取り組み	町田市、UR都市機構、JKK東京の三者で構成する「町田市団地再生・まちづくり会議」及びそのワーキング・グループを定期的に開催し、緊密な情報提供や広範な議論によって、団地再生の取り組みを一層深化させます。	町田市団地再生・まちづ くり会議及びワーキング・ グループの開催回数	5回								
4	個別 計画	空家に関する 取り組み	2026年3月から新たに管理不全空家等 ^{※1} として指導対象とした10件の空家について、行政指導や勧告を行い、早期の改善を促します。 ※1:管理不全空家等 ^{※1} とは、そのまま放置すれば特定空家等 ^{※2} となるおそれのある空家 ※2:特定空家等とは、管理状態が顕著に悪い空家	管理不全空家等の改善 件数	2件								
5	事務 事業 見直し	業務の効率化	旧耐震木造住宅の耐震化助成業務に関連し、個別物件の耐震化進捗把握や、物件が除却された際の検出を容易にするため、庁内GIS上にマッピング済みの対象物件に、耐震設計履歴データを登録します。 また、業務内容を市民等にわかりやすく説明するため、ホームページコンテンツの改善を行います。	①耐震設計履歴データの データベース登録 ②ホームページコンテ ンツの改善数	①完了 ②10件								
6	人材 育成	「チームワーク 志向」	住宅課の業務は多岐にわたり、担当者の外出等による不在時においても、他の職員が窓口や電話へ適切に対応する必要があります。 課内で連携・協力して業務を行えるよう、他担当の業務に関する知識の向上を図るため、課内研修を実施します。	課内研修の実施回数	3回								
7	全庁 で 施策 取 り 組	「シティプロ モーション」	町田市の大きな特徴である「団地」の活性化は、市全体の魅力を高める重要な鍵となります。 団地事業者が実施するイベント等の広報を市が支援することで、子育て世代の流入促進や地域コミュニティの活性化を支援します。	情報発信(FAXリリース、 広報まちだ、市ホーム ページ)を行った回数	4回								

部課名		都市づくり部建築開発審査課											
課の使命		・市民が安心して暮らせる良好な街づくりを推進するため、建築物の建築等が適法に行われると共に適法な状態が保たれるよう、情報発信、審査、指導、検査等を行っていきます。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	個別 計画	災害に備えた 準備	①市内の被災建築物応急危険度判定員との連携強化を図るため、民間判定員連絡協議会・判定実地訓練を実施します。 ②被災建築物応急危険度判定のタイムライン※において、判定活動終了後に職員が行う作業を精査し、具体的な手順書を作成します。2025年度までに作成済の手順書と合わせて、タイムラインに基づく全ての手順書が完成します。 ※タイムライン:被災建築物応急危険度判定業務マニュアルに基づき、地震発生から30日後までに職員が行う業務を時系列で整理したもの	①民間判定員連絡協議会・判定実地訓練の実施 ②手順書の作成(判定活動終了後編)	①実施 ②完了								
2	事務 事業 見直し	建築基準法に基づく指定道路調書の作成	①建築基準法第42条第2項の規定に基づく道路について、指定道路調書を作成します。 ②社会資本整備総合交付金の獲得を目指します。	①5路線作成 ②交付金の獲得	①完了 ②獲得								
3	その他	監察調書のGISシステム登録	①紙で保存されている過去の監察調書について、GISシステムへリスト作成を行い、一覧化します。また、位置情報を登録し位置の明確化を行います。 ②紙で保存されている過去の監察調書内の紙文書や図面等をGISシステムへ保存するために、保存すべき情報等の条件整理を行います。	①GISシステム上でのリスト作成及び位置登録 ②監察調書内の紙文書や図面等をGISシステムへ保存するための条件整理	①完了 ②完了								
4	人材 育成	「市民志向」	①新規・異動により配属された職員が窓口対応において迅速で的確な案内を行えるように、知識・情報を共有する勉強会を実施します。また、勉強会の内容を他の職員にも共有できるよう職場内で周知します。 ②業務分担の平準化を図るために各業務の内容及び進捗状況を係内で共有し、協力し合える体制を作るための業務連絡会を実施します。	①閲覧窓口勉強会の実施回数 ②業務連絡会の実施回数	①10回 ②10回								
5	全庁で 取り組む 施策	「障がい者への差別を解消し共生社会の実現」	障がいがある市民の対応について勉強会を実施し、訪れた市民が相談しやすいにしています。	勉強会の実施回数	年3回								

部課名		都市づくり部建築開発審査課 建築審査担当											
課の使命		・市民が安心して暮らせる良好な街づくりを推進するため、建築物の建築等が適法に行われると共に適法な状態が保たれるよう、情報発信、審査、指導、検査等を行っていきます。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	その他	地図情報まちだやホームページへ掲載する情報の充実	問合せが多い事項について、お客様が来庁せずともインターネットで必要な情報を得られるよう、公開する情報を充実させます。 ①外壁後退の有無や斜線制限の表示など、地図情報まちだに掲載する項目を追加します。 ②不動産調査に必要な情報を集約するなど、ホームページでの案内を見やすく更新します。	①地図情報まちだへの表示項目追加数 ②ホームページの更新	①2項目 ②完了								
2	人材育成	「市民志向」	①職員の人材育成・技術習得のため、外部技術研修へ積極的に参加します。 ②経験豊富な職員のノウハウを活かした係内勉強会を実施し、知識や技術の継承を図ります。また、外部技術研修で学んだことを係内勉強会の中で周知・共有し、業務に活かしていきます。	①外部技術研修への参加回数 ②係内勉強会の実施回数	①年12回 ②年12回								
3	全庁で取り組む施策	「ゼロカーボンシティまちだ」	紙使用量削減に向けて、現在窓口で配布している角地緩和の取扱い等の紙資料について、配布を廃止します。なお、QRコードを記載した閲覧資料を窓口に備えることでお客様サービスが向上します。	紙配布資料の廃止	廃止								

部課名		都市づくり部建築開発審査課 開発審査担当											
課の使命		市民が安心して暮らせる良好な街づくりを推進するため、開発行為等が適法に行われると共に安全な宅地が保たれるよう、情報発信、審査、指導、検査等を行っていきます。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
1	その他	開発登録簿のオンライン公表に向けての準備、情報収集	オンライン上で開発登録簿が閲覧できるサービスの提供を目指すため、東京都及び他自治体の取り組み等について情報収集、庁内関係部署と調整をし、開発登録簿のオンライン公表に向けた準備を行います。	開発登録簿のオンライン公表に向けての準備、情報収集	完了								
2	全庁で取り組む施策	障がい者への差別を解消し共生社会の実現	障がいがある市民の対応について勉強会を実施し、訪れた市民が相談しやすいようにしていきます。	勉強会の実施回数	年3回								
3	人材育成	市民志向	①職員の人材育成・技術習得のため、技術研修会へ積極的に参加します。 ②経験豊富な職員のノウハウを活かした技術勉強会を実施し、知識や技術の継承を図ります。また、技術研修会で学んだことを技術勉強会の中で周知・共有し、業務に活かしていきます。	①技術研修会への参加回数 ②技術勉強会の定期実施回数	①年3回 ②年24回								

部課名		都市づくり部公園緑地課											
課の使命		・市民及び利用者にとって魅力ある公園・緑地を目指します。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
1	重点 事業 プラン	野津田公園スポーツの森の整備	スケートパークの整備工事を行います。	スケートパーク整備工事のうち2026年度分整備工事	完了								
2	重点 事業 プラン	芹ヶ谷公園芸術の杜の整備	今後の進め方について、市民からご意見を伺ったうえで、施設の配置計画や規模等、全体デザインの再構築に向けた市民参加型のワークショップ等を実施します。	芹ヶ谷公園“芸術の杜”の実現に向けた計画の見直し状況	市民参加型のワークショップ等の開始								
3	重点 事業 プラン	忠生スポーツ公園の整備	峠谷地区・旧埋立地地区の都市計画決定を行います。	都市計画決定	完了								
4	事務 事業 見直し	「改革・改善志向」	庁内の定時退庁日に加えて「マイ定時退庁日」を各職員が設定することで、業務に優先順をつけ重要なものから着手し、各業務にかける時間をあらかじめ決めることにより、業務の効率化と時間外勤務の縮減を図ります。	実施回数	月1回/人								
5	人材 育成	「チームワーク志向」	職員の能力向上のために、新規採用職員や異動者、若手職員に対して、課内(公園計画係・公園整備係)の業務内容についての勉強会を実施します。	勉強会の実施回数	3回/年								
6	全庁で 取り組む 施策	「シティプロモーション」	芹ヶ谷公園の魅力を伝える情報発信を行います。	SNSの投稿数	200回/年								

部課名		都市づくり部公園緑地課 公園管理担当											
課の使命		・市民及び利用者に満足していただける公園・緑地を目指します。 ・公園・緑地の適正な整備・管理を市民・NPO・事業者と共に推進し、安全で安心な憩いの場を提供します。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	個 別 計 画	管理運営水準 の向上	管理運営水準の向上を図るために、市が求める公園の管理運営水準を満たす活動を行った団体に対しては、インセンティブを付与するという仕組みを構築しました。 この仕組みを活用してくれる公益的活動団体に働きかけを行い、運用を開始します。	運用開始した公園	2公園								
2	そ の 他	公園利用者 ニーズを踏ま えた事業の実 施	指定管理者に公園利用者ニーズを踏まえた自主事業の実施を促し、公園利用者の増加を図ります。	自主事業の参加者数	260,100人 (2025年度比 2%増)								
3	全 庁 で 取 り 組 む 施 策	「子どもにやさ しいまちの実 現」	子どもが公園で遊びたい遊具等のニーズを把握するために、子どもを対象にしたイベントに参加して、アンケートを実施します。	アンケートの実施回数	5回/年								
4	事 務 事 業 見 直 し	業務の効率化 (業務のデジ タル化)	2024年度に運用開始した公益的活動団体登録申請受付システムの運用実績を踏まえ、利用者の利便性向上のための改修を行います。	受付システムの改修	完了								
5	人 材 育 成	「チームワーク 志向」	職員の能力向上のために、新規採用職員や異動者、若手職員を含めて、係内の業務内容について勉強会を実施します。	勉強会の実施回数	3回/年								